

# おおむたの 新しい総合計画づくり まちづくり市民ワークショップニュース

発行：2015年1月 大牟田市企画総務部総合政策課  
大牟田市有明町2丁目3 0944-41-2501



Vol.6



## ▶ 第6回ワークショップ

日時：平成26年12月21日（日）

午前9時30分～正午

場所：市民活動等多目的交流施設「えるる」

2階 小・中研修室

第6回目のワークショップでは、第4回で導き出した20の将来像に近づくためのプロジェクトについて話し合っていました。話し合いにあたっては、参加者からプロジェクト案を提案してもらい、それに賛同する人で班を作り、自由に意見交換をしていただきました。

次回はいよいよ最後のワークショップです。

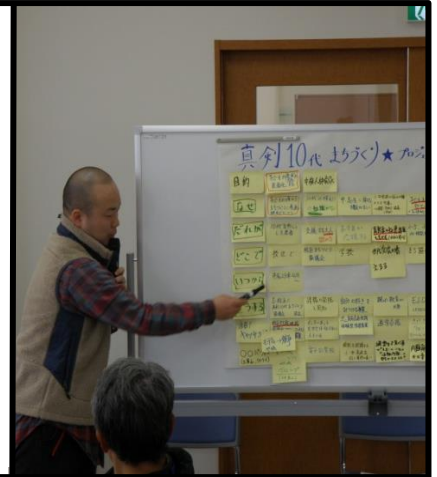
### 当日の流れ

1. 主催者挨拶
2. オリエンテーション  
(1) アクティビティ  
(2) 本日の進め方について
3. 20の将来像に近づくためのプロジェクトについて提案
4. グループごとにプロジェクトについて議論
5. グループごとのプロジェクト発表

◆グループごとのプロジェクトまとめ 「」はプロジェクト名

1班 「真剣10代まちづくり★プロジェクト」

- ・目的：子どもの意見・主張の表面化、中核人材の育成、学校をこえた横のつながりづくり
- ・関わる人：10代を中心とした若者とそれを支える大人
- ・実施時期：平成28年4月から（協働のまちづくり推進条例、新総合計画開始時期）
- ・実施場所：校区、学校、えるる
- ・内容：校区ごとに真剣10代まちづくり協議会設立、校区対抗地域活性化プランコンテスト、志（こころざし）育成企画・実践のための体験型学習事業、ESDを意識したまちづくり事業、多様な手段による情報発信（電子回覧板など）etc.



2班 「校区商店街“おおむた”プロジェクト」

- ・目的：商店街の活性化、地域の顔見知り化、引きこもりの人の外出支援、買物弱者への支援
- ・関わる人：地域に住んでいる大人・子供、商店街の個人営業主、民生委員
- ・地域資源：お年寄りの知識
- ・実施時期：できるだけ早く、定期的に実施。みんなが楽しく参加できるように。
- ・実施場所：小学校区単位。学校や公民館などの公的施設。
- ・内容：移動商店街（ネイルサロンや出張美容室なども）・軽トラ朝市、一人暮らしの人向けの御用聞き制度、ふれあいサロンや子育ての環境で広報活動、登録制フリーマーケットetc.



3班 「あいさつ運動プロジェクト」

- ・目的・現状：子どもとのコミュニケーションがしにくくなっている。地域の人とあいさつをする機会がへっている。日常的にあいさつができる環境を作っていく。あいさつから元気を作る。
- ・関わる人：親子、地域団体等の代表者、高齢者
- ・地域資源：挨拶から始まるコミュニケーション
- ・実施時期：今すぐにも
- ・実施場所：人が集まるところはどこでも。イベント会場など。
- ・内容：あいさつ大使（キャラクターなどを活用）、バッジの配布、あいさつウォーキング・ランニング、夜警の復活、火の用心etc.



4班 「元気の出るまちづくりプロジェクト」

- ・目的：若者が意見を言える場・大人と関われる場・発想を実践する場づくり、まちの活性化
- ・関わる人：中学生以上の子どもたち、一般市民（有志）、行政、商工会議所、店舗を持つ協力者、投資家（1口500円など）
- ・地域資源：大牟田市のロードマップ、アンテナショップ、観光の発信
- ・実施時期：年度初めから。27年度の1年間は準備期間。
- ・実施場所：市民活動を立ち上げそこで実施。シャッター街のテナント（借りられたら）。事務局（場所）が必要。
- ・内容：リーダー会議、かたり場づくり（カフェなど）、大牟田市のロードマップづくり、アンテナショップ、各学校で大牟田観光マップ作成etc.

